

平成21年度決算の概要

平成21年度の決算がまとまりましたので、一般会計を中心にその概要をお知らせします。
 平成21年度は「子どものインフルエンザ予防接種費への助成」や「環日本海定期貨客船の運航支援」、夕日ヶ丘地区の販売促進策としての「定期借地権制度の導入」といった新たな施策に取り組みました。
 一般会計は、歳入から歳出を差し引くと4億9,166万円の黒字で、そこから翌年度に繰り越すべき財源5,099万円を除いたものが、4億4,067万円（実質的な黒字）となりました。また、市債（借金）の残高は約7.6億円減少する一方で、基金（貯金）の残高は約1.6億円の増加となり、「自立・持続可能な財政基盤の確立」に努めた取組みの成果が表れたものとなっています。

特別会計については、左ページの表のとおりです。 ◆問合せ先 財政課（☎47-1012）

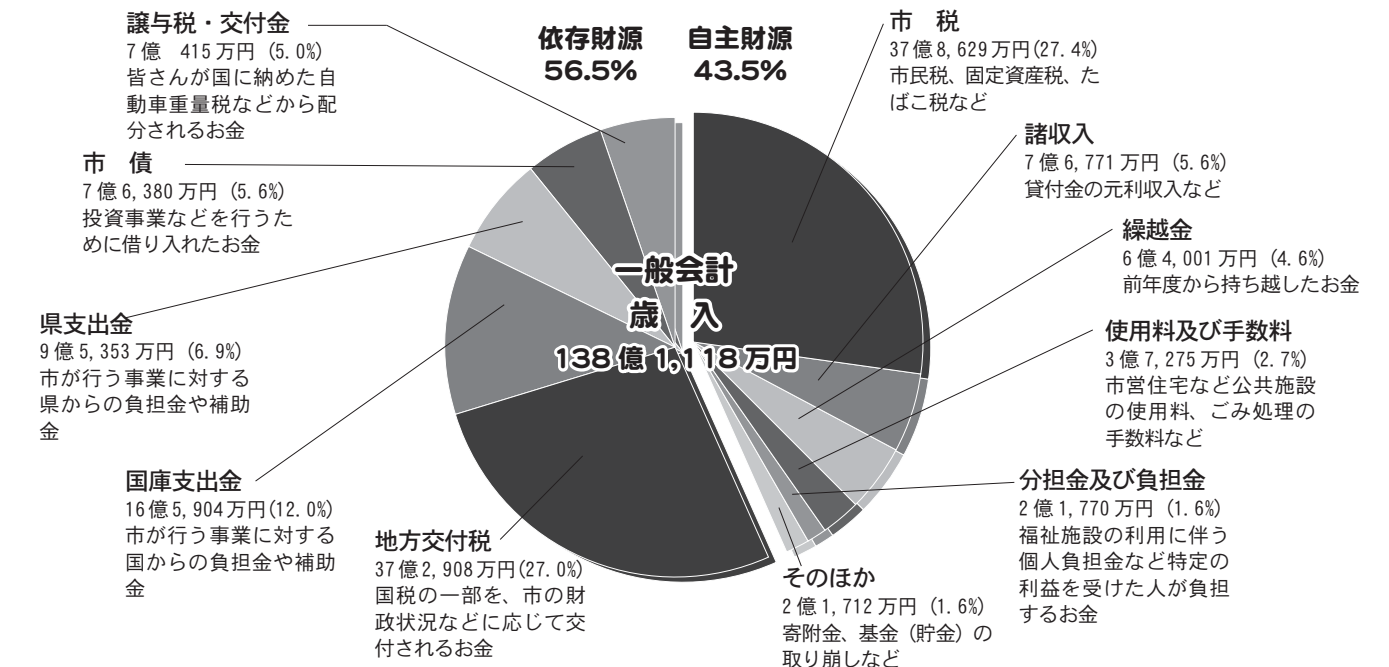
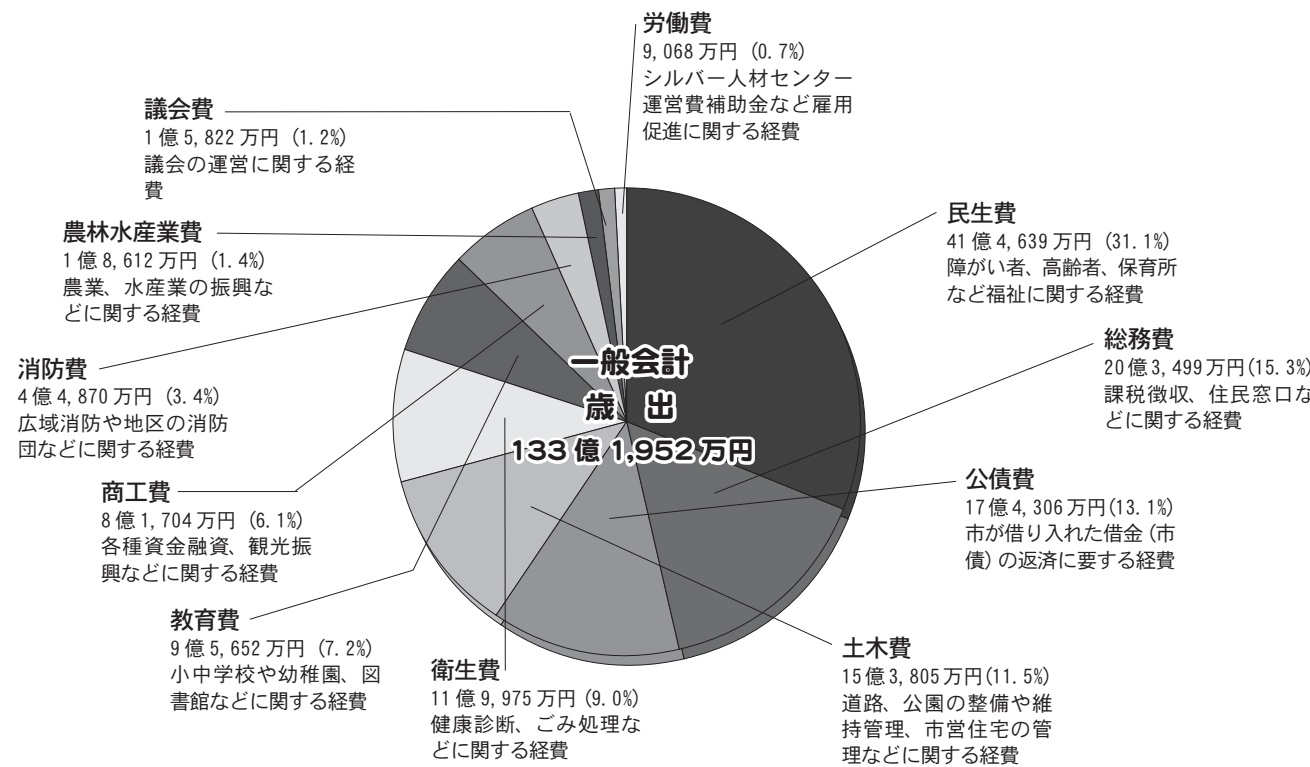
一般会計歳出の状況

歳出総額は133億1,952万円で、前年度より3億2,015万円（2.5%）増額となりました。

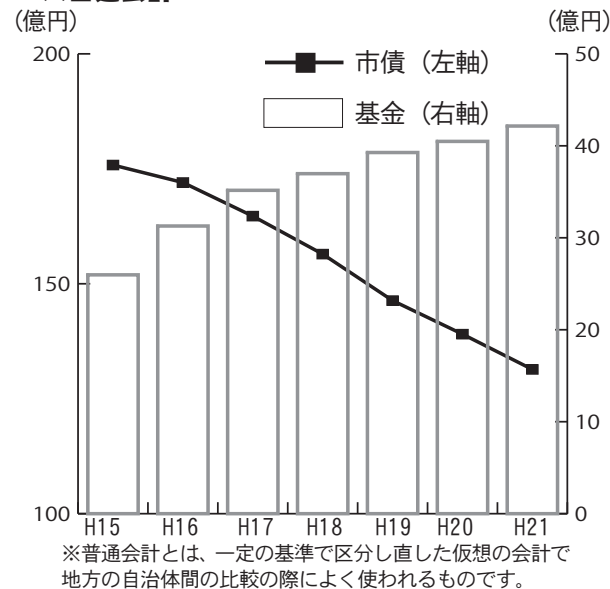
生活保護費などの社会保障関係費の増などにより、民生費が前年度に比べ、3億2,630万円（8.5%）増加しています。

また、緊急雇用対策の実施により、労働費は大幅に増加しています。

区分	平成21年度決算額	平成20年度決算額	伸び率
民生費	41億4,639万円	38億2,009万円	8.5%
総務費	20億3,499万円	23億4,384万円	▲13.2%
公債費	17億4,306万円	18億25万円	▲3.2%
土木費	15億3,805万円	13億7,364万円	12.0%
衛生費	11億9,975万円	10億8,620万円	10.5%
教育費	9億5,652万円	9億1,755万円	4.2%
商工費	8億1,704万円	8億8,141万円	▲7.3%
消防費	4億4,870万円	4億3,282万円	3.7%
農林水産業費	1億8,612万円	1億7,535万円	6.1%
議会費	1億5,822万円	1億5,623万円	1.3%
労働費	9,068万円	1,199万円	656.1%
合計	133億1,952万円	129億9,937万円	2.5%



市債(借金)残高・基金(貯金)残高の推移 ※普通会計



特別会計

会計名	歳入決算額	歳出決算額
国民健康保険費	39億9,783万円	37億5,603万円
駐車場費	4,783万円	6,083万円
下水道事業費	27億2,413万円	27億2,413万円
高齢者住宅整備資金貸付事業	287万円	221万円
老人保健費	1,296万円	964万円
介護保険費	28億883万円	28億125万円
土地区画整理費	2,409万円	5億3,502万円
市場事業費	4,171万円	4,510万円
後期高齢者医療費	3億3,934万円	3億3,884万円

区分	平成21年度決算額	平成20年度決算額	伸び率
市税	37億8,629万円	39億8,710万円	▲5.0%
諸収入	7億6,771万円	8億7,891万円	▲12.7%
繰越金	6億4,001万円	4億2,114万円	52.0%
使用料及び手数料	3億7,275万円	4億1,343万円	▲9.8%
分担金及び負担金	2億1,770万円	2億1,714万円	0.3%
繰入金	1億7,552万円	2億5,050万円	▲29.9%
寄附金	3,250万円	535万円	507.3%
財産収入	910万円	2,028万円	▲55.1%
計	60億158万円	61億9,385万円	▲3.1%
地方交付税	37億2,908万円	33億9,663万円	9.8%
国庫支出金	16億5,904万円	17億2,710万円	▲3.9%
県支出金	9億5,353万円	7億5,076万円	27.0%
市債	7億6,380万円	8億4,380万円	▲9.5%
譲与税・交付金	7億415万円	7億2,724万円	▲3.2%
計	78億960万円	74億4,553万円	4.9%
合計	138億1,118万円	136億3,938万円	1.3%

一般会計歳入の状況

歳入総額は138億1,118万円で、前年度より1億7,180万円（1.3%）増額となりました。

自主財源は、前年度からの繰越金などが増となったものの、法人市民税をはじめとする市税の減などにより、前年度比1億9,227万円（3.1%）の減収となりました。

依存財源は、地方交付税や緊急雇用関連による県支出金の増などにより、前年度比3億6,407万円（4.9%）の増収となりました。